

湯沢の事業者 稲川中で特産品贈呈

“滑らない箸” 受験生に割そば平らげ 全員合



湯沢市稲川地域の事業者が、高校受験を控えた地元・稲川中学校の3年生50人に演技を担いだ特産品を贈った。

贈呈されたのは「するする入る合格うどん」と名付けられた稲庭うどん、先端を滑らないように加工

した川連漆器の箸、紅白2色のおにぎりのセット。受験勉強の励みにしてもらおうと毎年贈っている。

14日に同校を訪れた県稲庭うどん協同組合の高橋洋行理事は「稲庭うどんはタンパク質が豊富で消化もいい。日々の勉強に活用してください」とあいさつ。県漆器工業協同組合の佐藤公代表理事は「勉強できる時間はまだ残っている。箸を毎日使って役立ててほしい」と呼びかけた。

生徒を代表し阿部遊羽さんが「緊張や不安を抱きながら入試に向かっている。地域の応援に感謝しながら試験当日を迎えたい」と感謝した。(小林智彦)

令和7年2月20日(木)秋田魁新聞より一部抜粋)